

おおがわら

議会だより



第173号

令和6年11月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



収穫の秋

令和6年10月9日

(南小放課後子ども教室)

令和5年度決算状況……………	②③
決算審査特別委員会質疑…	④⑤⑥
議案審議……………	⑦⑧
町政への提言……………	⑨
全員協議会……………	⑳㉑
町民の声……………	㉔

決算

令和5年度

一般会計

歳入 前年度比1.4%増の
歳出 前年度比0.5%減の

116億3345万1000円
110億3582万7000円

財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況

(単位:%)

区 分	令和5年度	早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)
実質赤字比率	—	14.62	20.00
連結実質赤字比率	—	19.62	30.00
実質公債費比率	3.3	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の借入金返済等に充てた大きさを指標化したもの
財政負担をみるための比率
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

資金不足比率

(単位:%)

会 計 名	決算比率	経営健全化基準 (国の基準)
地方卸売市場事業特別会計	—	20.00
水道事業企業会計	—	20.00
公共下水道事業企業会計	—	20.00

特別会計・企業会計決算

(単位:円)

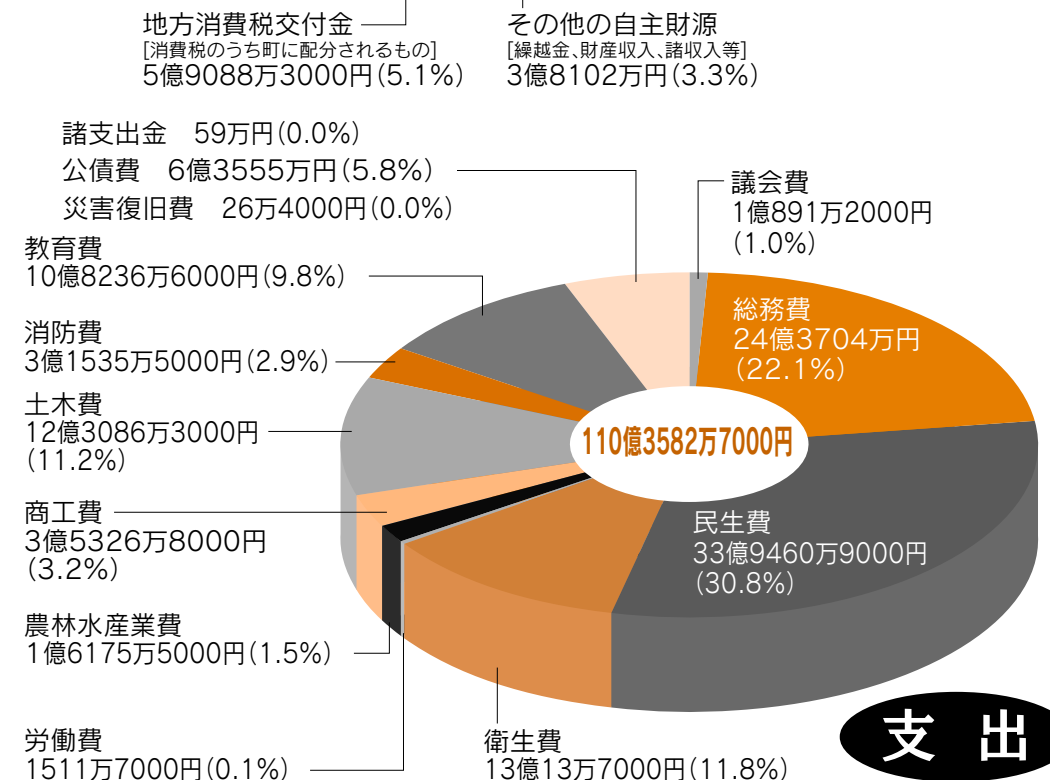
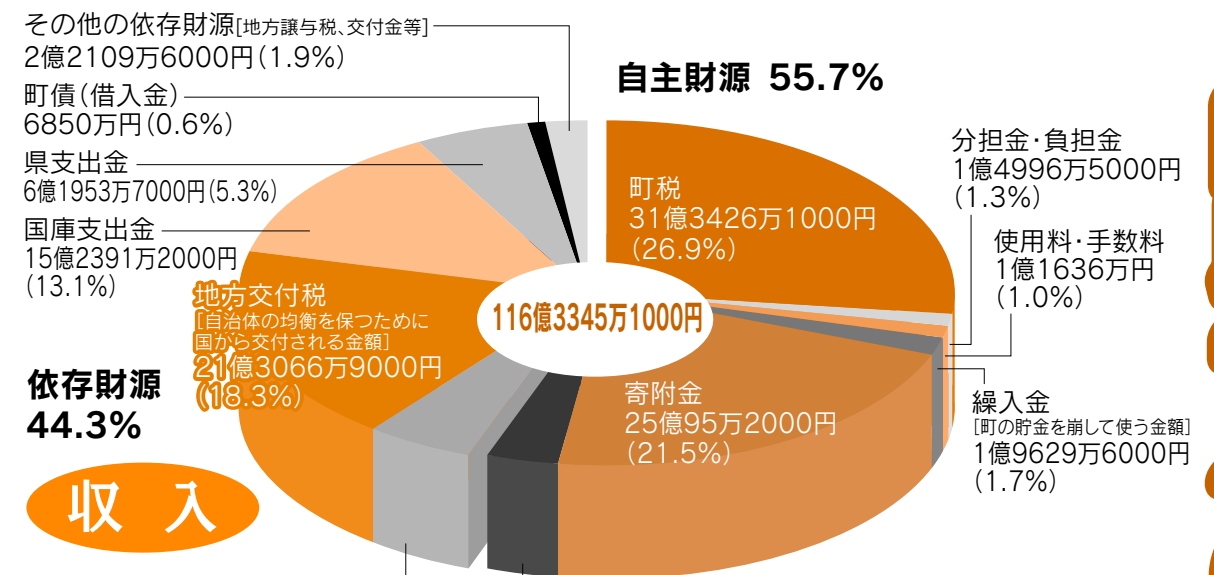
会 計 名		歳 入	(前年度比較)	歳 出	(前年度比較)
後期高齢者医療特別会計		3億2830万円	6.7%	3億2177万円	7.0%
国民健康保険特別会計		21億9692万2000円	2.1%	21億6251万9000円	2.1%
介護保険特別会計		15億1852万4000円	4.4%	14億9012万4000円	4.7%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計		4710万8000円	▲0.3%	4335万3000円	6.0%
地方卸売市場事業特別会計		209万8000円	▲37.8%	145万9000円	▲41.0%
水道事業企業会計	収益的収支	6億8341万円	0.8%	5億4000万4000円	0.4%
	資本的収支	3000万円	±0	3億3725万7000円	8.1%
公共下水道事業 企業会計	収益的収支	8億520万3000円	4.8%	5億7571万6000円	▲0.3%
	資本的収支	7億4341万円	83.0%	10億4445万3000円	52.6%

一般会計

令和6年第3回定例会は、9月2日から9月13日までの12日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和5年度各種会計決算の認定の他30件の議案を慎重に審査し、すべて認定、可決しました。

一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点をいただきました。



町民一人あたり約47万円
使われました



令和6年度各種予算に 追加補正予算計上 町独自支援事業に4825万円等

9月会議 可決

- 燃料高騰対策運送業者等中小企業者支援事業 600万円
燃料経費が事業を圧迫する運送業等事業者の事業継続と雇用維持を支援することを目的として事業用車両の燃料に係る経費の一部として支援金を交付。
【支援金…1台3万円（3万円×200台）】
※詳細は20ページ
- ふるさと納税寄附金業務委託料 1億8550万円
- ふるさと寄附金システム利用手数料 635万円
- ふるさと寄附金代理納付等手数料 50万円
前年度までの実績を踏まえ、現時点で見込まれる寄附者への返礼品及び受領書等発送等に関する業務委託に関するもの。

- 上谷2号樋門測量設計業務委託料 400万円
上谷・上谷地区農業用排水路において、白石川との合流箇所付近で水路に破損があることが判明し、整備補強を実施する。
- 置き型授乳室 355万円
ベビーファースト運動の一環として、外出先で安心して授乳できる環境づくりを目的に、オーガ・役場庁舎に設置。
- 中体連東北大会・全国大会出場負担金 87万円
生徒の交通費、出場負担金及び宿泊費。
東北大会…水泳競技1名・剣道個人戦2名・女子ソフトテニス団体戦8名・相撲1名
全国大会…女子ソフトテニス団体戦8名・相撲1名

- 原油価格・物価高騰対策中小企業者支援事業 4000万円
町内事業者への経営の影響を緩和し、事業者の負担軽減と事業の継続及び雇用維持と地域経済の活性化を図ることを目的として中小企業者等に支援金を交付。
【支援金…1事業所5万円（5万円×800事業所）】

議案第53号 令和6年度大河原町一般会計 補正予算（第4号）

主な補正項目

今回の議案では、令和6年度一般会計及び各種特別会計の追加補正予算を含む14議案の他に人事案件2件、報告4件、認定8件、議発1件、計30件について審議を行った。

宝くじスポーツフェア
はっらっ
ママさんバレーボール
in おおがわら

あっそーん

Friendly Match
ドリームチーム vs
大河原町選抜チーム

令和6年 11月3日（日）12:20開会 入場無料 入場整理券を
6年 11月3日（日）12:20開会 入場無料 入場整理券を
ヒルズはねっこアリーナ
（大河原町総合体育館）

お問い合せ先 大河原町スポーツまちづくり推進課 TEL.0224-87-8040

※オーブン・アクト（オアシスチーム / Oasis）
※アトラクション（ドリフト・オブ・ザ・スター）
※フットボール・マッチ（出場チーム：大河原町選抜チーム）
※ドリームチーム

期間：午前9時
当日、先着
500名様に
特製応援グッズを
プレゼント!!

宝くじに夢中
宝くじに夢中

元全日本バレーボール選手が多数来町予定

- 宝くじスポーツフェア事業音響機器設置運営委託 20万円
ママさんバレーボールイベント事業の実施にあたり、開催当日の音響設備レンタルやオペレーターに係る委託料。

万波 孝子

仙南地域広域行政事務組合に滞納整理共同処理として令和5年度末で、差押え7件、未納誓約23件が町に納入され、8件が完納に至ったとあるが、トラブルは生じなかったのか。

問 仙南広域に移管する前に必ず調査をしている。主に支払えるのに支払わない方で、差押えは給与や預金。不動産はない。

答 家族介護用品支給として介護認定者を対象に紙おむつを支給している。年間延人数482人（前年度426人）で利用者は増えているが、対象であるにも関わらず知らない人もいるため、周知方法について伺う。



問 学校給食センターの賄材料費は、当初予算1億2641万6千円だったが、決算では、200万円増となっている。価格高騰の影響だと思うが、今後の対応を示して欲しい。

秋山 昇

学校給食センターの賄材料費は、当初予算1億2641万6千円だったが、決算では、200万円増となっている。価格高騰の影響だと思うが、今後の対応を示して欲しい。

ネジャーにはケアプランの中でもおむつ周知に力を入れた結果が増に繋がった。更なる周知を図る。

万波 孝子

仙南地域広域行政事務組合に滞納整理共同処理として令和5年度末で、差押え7件、未納誓約23件が町に納入され、8件が完納に至ったとあるが、トラブルは生じなかったのか。

6月の補正で、568万円を上乗せしている。3月末に価格決定するものがあり当初予算には間に合わないため。価格高騰が続いているが、できるだけ安い所から仕入れる様に努力する。

スクールカウンセラー事業の相談件数は児童生徒142件、教員189件、保護者15件とあるが内容について教えて欲しい。

不登校の相談が19件、家庭環境についての相談が19件、発達障害に関する相談が10件、健康・こころに関する相談が9件、いじめ等に関する相談が4件。

6月の補正で、568万円を上乗せしている。3月末に価格決定するものがあり当初予算には間に合わないため。価格高騰が続いているが、できるだけ安い所から仕入れる様に努力する。

スクールカウンセラー事業の相談件数は児童生徒142件、教員189件、保護者15件とあるが内容について教えて欲しい。

不登校の相談が19件、家庭環境についての相談が19件、発達障害に関する相談が10件、健康・こころに関する相談が9件、いじめ等に関する相談が4件。

不登校の相談が19件、家庭環境についての相談が19件、発達障害に関する相談が10件、健康・こころに関する相談が9件、いじめ等に関する相談が4件。

大沼 忠弘

政策企画会議の議題にあった金ヶ瀬への企業立地案件について、案件の内容と企業進出について具体的に伺いたい。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。

ある企業が土地を求めているということだったため、本町で対応できるような土地がないのか検討したのが案件の内容。企業が求めている土地はかなり大きな面積をもつものだった。また交通の便などにも必要になる。企業が求めるもの、行う事業については企業の判断になるため、本町としてはまだその段階に至っていない。



総括質疑

万波 孝子

問

- ① 物価高騰等で暮らしも営業もかつてなく厳しく、深刻な状況に追いやられている。暮らし応援策を検討すべき。
- ② 国保は自営業や年金生活者、非正規労働者等低所得者が多く加入している。基金残高は4億3035万円。取り崩し一世帯当たり1万円くらいの引き下げは十分可能でないか。
- ③ 字南原町に調整池が設置されているが年間の維持管理状況は。



（総括質疑は一度に複数の質疑を行うため、回答も一度におこないます。）

答

- ① 国や県の動向も注視しながら検討する。
- ② 基金保有は必要であり取り崩しはできない。
- ③ 除草剤散布年6回、集草1回実施している。定期的な巡回と美観や周辺環境に配慮した維持管理する。

高橋 芳男	P ⑩
● 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて	
● 困難な問題を抱える女性への支援充実について	
● 保育ソーシャルワークの導入について	
※ リチウム蓄電池等の小型充電式電池の拠点回収	
万波 孝子	P ⑪
● おおがわら千本桜スポーツパーク「賑わい交流拠点施設」について	
● 「マイナ保険証」について	
● 防犯カメラや防犯灯の増設を	
大沼 忠弘	P ⑫
● 総務産業常任委員会視察研修から今後のまちづくりについて	
※ クマの出没について	
佐藤 暁史	P ⑬
● 防犯対策などについて	
● 駅前の活性化について	
中村 淳	P ⑭
● 大河原町史編纂の今後について	
丸山 勝利	P ⑮
● 有害動物対策について	
佐久間 克明	P ⑯
● 今後の官民連携の在り方について	
● 職員の暑さ対策と統一感を	
須藤 慎	P ⑰
● 空き家問題及び対策等について	
大沼 常次	P ⑱
● 町の森林行政の現状と展望について	
● 放課後にゆとりを持たせるために長期休暇の削減について	
※ 総合型スポーツクラブの将来について	
岡崎 隆	P ⑲
● 負の遺産を生み出すな	

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は10人の議員が行いました。

町政への提言Q&A

一般質問

● 弁護士委託料 45万円 オーガ立休駐車場に長期間放置されている車両があり、車両に警告文書の貼付や車両所有者へ撤去依頼の通知を送付したが、現在まで連絡が取れない状況にある。裁判を経ての法的手続きで適切な処置をするための弁護士への委託費用。	● 財政調整基金繰入 △3億2521万円 ● 財政調整基金残高 30億1100万円 同意第2号 教育委員会委員の任命 丹羽宣博氏の再任	諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦 菅野希子氏の選任	議案第47号 訴えの提起 事件名…車両撤去土地明渡等請求事件 請求の趣旨…相手方に対し、大河原駅前立休駐車場に駐車している車両の撤去、駐車区画の明渡し及び駐車場使用料等の支払いを求めるもの。	議案第48号 物品購入（バスケットゴール） 契約の締結 物品名…大河原町総合体育館バスケットゴール 契約金額…1166万円	● 燃料高騰対策一般廃棄物収集運搬事業者支援金 285万円 燃料経費が事業を圧迫する一般廃棄物収集運搬事業者の事業継続と雇用維持を支援することを目的として事業用車両の燃料に係る経費の一部として支援金を交付。 〔支援金…1台3万円（3万円×95台）〕	● 小中学校特別教室等空調設備設置工事 1020万円 町内小中学校の特別教室9教室のエアコン設置工事。	● 上谷2号樋門応急復旧工事 650万円	● 移動式バスケットゴール1対 ● セッティングゲージ1対 ● ショットロック1対 1対の処分	議案第60号 令和6年度大河原町一般会計補正予算（第5号）	契約の相手方…株式会社フクシ・エンタープライズ 東北支店 支店長 伊藤光幸 契約の方法…制限付一般競争入札 購入内容…移動式バスケットゴール1対の購入及び現有する移動式バスケットゴール1対の処分
---	--	--------------------------------	---	---	--	--	----------------------	--	-------------------------------	---

令和6年第3回 大河原町議会定例会9月会議 採決状況一覧

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														
		佐藤 暁史	中村 淳	大沼 常次	高橋 豊	佐久間 克明	須藤 慎	高橋 芳男	丸山 勝利	欠 員	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	佐藤 巖	大沼 忠弘	岡崎 隆
同意第2号 教育委員会委員の任命について	同意 (12:1)	無記名投票による														議
諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任 (13:0)	無記名投票による														議
報告第7号～報告第10号																
議案第47号～議案第50号	可決 (13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	議
議案第51号 大河原町国民健康保険条例等の一部改正について	可決 (12:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	×	○	○	○	議
議案第52号～議案第59号	可決 (13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	議
認定第1号～認定第8号	可決 (13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	議
議案第60号	可決 (13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	議
議案第3号 大河原町議会における政治倫理向上に関する決議	可決 (13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	議

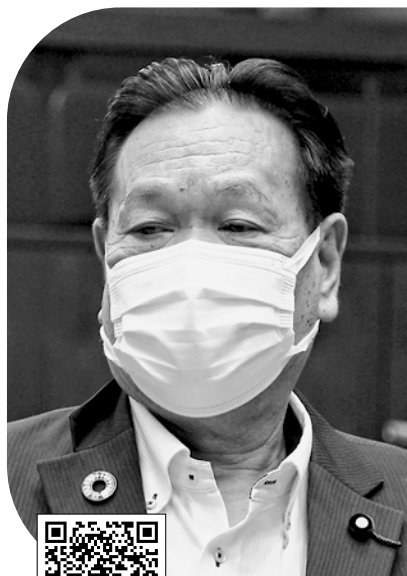
《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席（欠席・遅刻・早退・退席） 投：無記名投票（人事案件など）

一般質問

認知症

偏見をなくす教育環境整備を

引き続き環境整備に努める



高橋 芳男



保育ソーシャルワーク

高橋 2024年の1月1日に、共生社会の実現を推進する認知症基本法が施行された。東京の八王子市の小学校では、駄菓子屋での対応という体験型学習を取り入れた。体験学習を終えた子どもたちの感想は認知症への偏見は見られなかった。わが町でも認知症への偏見をなくす教育環境を整えるべきだと思うが、どうか。

町長 現在、各小中学校ではICTのプログラミング教育を活用し、認知症サポート養成講座を地域包括支援センターの職員を講師として体験型学習を実施している。今後も地域包括支援センターと協働し、認知症への偏見をなくす教育環境整備に努める。

困難を抱える女性支援

高橋 DVやストーカー、性被害、生活困窮などの問題を抱える女性を支援する新法が施行された。困難を抱える女性は、生活困窮、性被害、人身取引被害や家庭環境破綻など多岐に渡り、問題は複雑化・多様化・複合化している。わが町の取り組み状況はどうか。

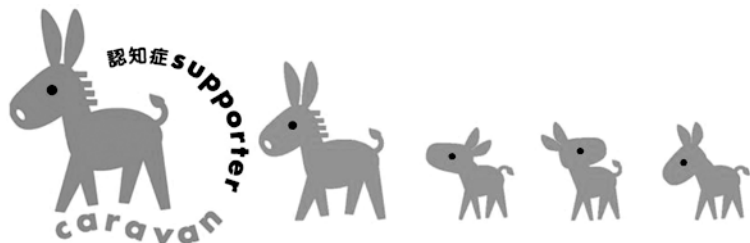
町長 女性相談支援員の配置は行っていないが、「子ども家庭課」や関係する部署との連携を密にする体制を整備しており、現体制を推進していきたい。

うなっているのか。今後どのようにするのか。伺う。

町長 女性相談支援員の配置は行っていないが、「子ども家庭課」や関係する部署との連携を密にする体制を整備しており、現体制を推進していきたい。

高橋 令和4年6月に成立した改正児童福祉法により、通常保育園で行う保育者支援に加えて、保育ソーシャルワーカーを設置する試みが広がっている。深刻であるからこそ自分で抱え込んでしまふ保護者が頼れる相手として、導入や育成等、積極的に推進していくべきだと思うが、どうか。

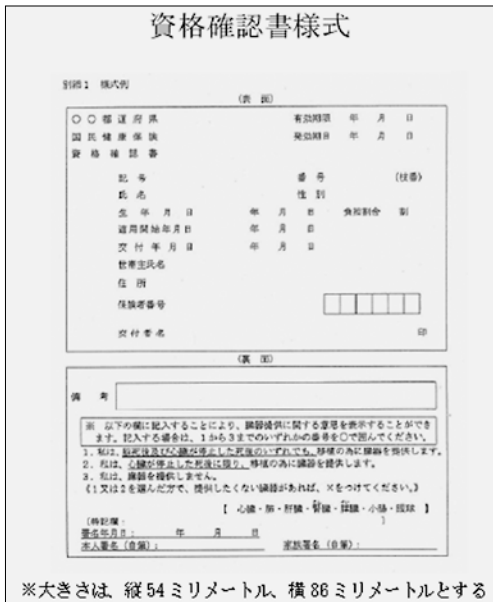
町長 本町では、「子育て支援センター」内での育児相談や交流の場の提供などの支援をしている。また専門的な対応には「子ども家庭センター」と連携を図って相談支援をしているため「保育ソーシャルワーカー」の導入は考えていない。



正しい知識で地域の手助けを

トラブルが多発・保険証残せ

被保険者には利点もある



※大きさは、縦54ミリメートル、横86ミリメートルとする
マイナ保険証を保有していない人に交付される

誤登録や個人情報漏えいへの不安等で、マイナ保険証の利用率は全国で7月時点11・3%となっている。12月2日以降は現行の保険証の発行は停止となる。国の方針を受けて伺う。

万波 マイナ保険証を持つている人に配布される「資格情報のお知らせ」とは、A4型でこれまでの被保険者証とほぼ同様で負担割合が追加される。

町長 A4型でこれまでの被保険者証とほぼ同様で負担割合が追加される。

万波 マイナ保険証を持つていない人に交付される「資格確認書」とは、被保険者証と同様の形状で有効期限は1年。

町長 被保険者証と同様の形状で有効期限は1年。

万波 マイナ保険証についてお知らせ

町長 必要があればお知らせばん等に周知を。載し町民に周知するなど検討したい。

万波 今もトラブルが続いている。10万人超の医師・歯科医師が加入する全国保険医団体連合会は、現行の保険証存続を求めている。町長も国に存続

を求めている。10万人超の医師・歯科医師が加入する全国保険医団体連合会は、現行の保険証存続を求めている。町長も国に存続

を求めていくべき。

町長 被保険者にとつては利点もある。医療機関との連携を図っていく。

賑わい交流拠点施設モデルプランで説明を

万波 住民懇談会は役場の2ヶ所だけでは不十分。モデルプランを示し集会所などで説明責任を果たすべき。今年中の意見集約は拙速すぎると言えないか。

町長 令和6年中にモデルプランの内容を決定し、令和7年度当初から参画事業者募集の手続きを行う計画としている。

万波 各スポーツ施設の建設費と賑わい施設の総事業費は、スケボー約1・8億円、屋根付きフットサル約3・2億円、3×3コート約

スケボー約1・8億円、屋根付きフットサル約3・2億円、3×3コート約

3千8百万円、総事業費は12・2億円。

防犯カメラの増設を

昨今、悪質な事件が社会問題になっている。町内でも6月に空き家を狙った盗難や自宅前の自転車被害にあい防犯カメラ設置を求める声が届いている。安心・安全な町づくりを願う以下、伺う。

万波 防犯カメラ、防犯灯の設置数は、東側2台、公共施設を含め69台。防犯灯は道路、ずい道含め4231箇所設置。

町長 防犯カメラは設置の要請があれば他市のように補助する考えは。

万波 地域や団体から防犯カメラの設置の要請があれば他市のように補助する考えは。

町長 県の防犯カメラ設置事業を活用した取り組みを行う。

マイナ保険証



万波 孝子



一般質問

まちづくり

維持管理費がかからない手法を

独立採算が可能であるのが必要



大沼 忠弘

品の企画など特に民間事業者の持つスキームやノウハウにより、効率的・効果的に遂行される業務を委託。ワンストップ特例申請のオンライン化など寄附者利便性向上や、ふるさと納税公式LINEの開設、メルマガ配信やふるさと納税読本への掲出など、本町の魅力を広く発信するための

様々な支援も実施されている。地元事業者へ委託は、体制の構築など、受託に至るまでにクリアすべき課題は多いものと考えている。

大沼 ふるさと納税返礼品を毎年のリピートにつながる日常品の拡充をすべき。

町長 本町の農産物を活用した返礼品開発に着手している。

大沼 賑わい交流施設の整備方針は。カフェ、レンタルサイクル、桜の伝承施設、各種スポーツ施設等受付、トイレなどの機能を有する施設整備を行う。カフェスペースについては河川側の景観を眺めながら利用できるオープンテラスや休憩スペースを計画。運営についてはPark PFIもしくは設置管理許可制

町長 国補助金・交付金等を活用して施設を建て、運営は利用する事業者へ委託し施設利用料（家賃）を受け取る。維持管理費がかからない境町（茨城県）モデルを賑わい交流拠点施設整備でも取り入れられないか。

大沼 境町ではふるさと納税業務は中間業者を介さずに町出資のまちづくり公社に委託。通常中間業者へ支払われる手数料を抑制。境町の事例を倣えば手数料を抑え、収入が増えるので人件費が増えても負担は少なく雇用創出にもつながるのでは。

町長 中間業者へ寄附報の一元管理、返礼品の調達・発送・シティプロモーションや返礼



多くの施設整備では町負担分は民間へ賃貸で全額回収（境町モデル）

オーガにLEDビジョン設置を 費用対効果を含め調査する



オーガ壁面を活かし駅前を賑やかに

今年の桜まつりも大盛況に終わった。観光客や町民の声を聞く、駅を降りて一目千本桜に向かうまで桜があった方がよい。桜の

時期は賑わっているがそれ以外は寂しいとの意見があった。

佐藤 駅前スペースに新種の「おおがわら千本桜」を植えて

町長 耐荷重の調査や設置費用、相当の費用や検討が必要。しかし駅前には広告や情

町長 令和6年7月末、刑法犯認知件数は125件、検挙数は79件、最も多い罪種は窃盗犯。

町長 防犯カメラは犯罪抑止に効果があるが、具体的なセンサースペックにも補助が必要でないか。

町長 防犯カメラは犯罪抑止に効果があるが、具体的なセンサースペックにも補助が必要でないか。

駅前活性化



佐藤 暁史

町長 令和6年7月末、刑法犯認知件数は125件、検挙数は79件、最も多い罪種は窃盗犯。

町長 防犯カメラは犯罪抑止に効果があるが、具体的なセンサースペックにも補助が必要でないか。

町長 防犯カメラは犯罪抑止に効果があるが、具体的なセンサースペックにも補助が必要でないか。

一般質問

へんさん
町史編纂

今後電子化は視野にあるか



中村 淳

書籍印刷と併わせ推進

町史が最後に発行されてから20年が経過しようとしている。更なる続編の発行の頃合いであり、今後の動向について以下質問する。

中村 発行に当たり、電子化・データ

ベース化は視野にあるか。

中村 次回の発行はいつ頃を考えているか。

教育長 令和元年6月会議に於いて、「四半世紀ごとに発行すること」で深みのある整理した町史ができると考えている」と回答している。

中村 発行に当たり、内容変更の余地は。

教育長 既刊も令和2年7月にPDF化しDVDに保存した。同様に書籍発行と併せてDVD保存を考えている。

中村 発行に当たり、内容変更の余地は。

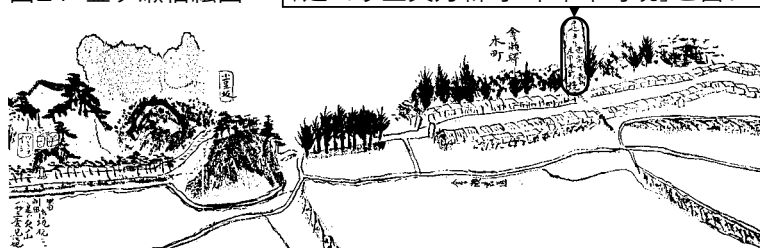
教育長 既刊は、当時3年をかけた文庫や古文書などを基に調査・編集をしたものであり、記述の見直しは特に考えていない。

中村 郷土史を研究されている方がお

教育長 町史には、洪水被害後、片倉領の住民が、現一区から三区辺りに本町として移住。東隣に伊達領の住民が新町として移住。本町は白石向き、新町は仙台向きとなったと記されている。町としては、編纂に当たり調査を行って記載したことを重んじ、調査検証は考えていない。

られ、この俗説について論文を書かれている。江戸時代の安永風土記に於いて、本町の長さが3丁12間と記載され、町史でも金ヶ瀬宿絵図として引用しているが、記載されている文字を重要視しておらず、挿絵程度の認識であった可能性が高い。この論文を基に更に検証するのはいかがか。

図21 金ヶ瀬宿絵図 「是ヨリ丑寅方新町 未申本町境」と書いてある



町史では小さくて文字が見えない

中村 この古地図の元の閲覧は可能か。

生涯学習課長 保管状況を確認の上、今後の編纂に際し、検討したい。

駆除を想定した訓練等を

確認作業をすすめたい



クマを正しく知る

丸山 本町においてもクマが目撃されている。クマの駆除にはスラック弾と呼ばれる1粒弾が有効だが、スラック弾の保有状況はどうか。

農政課長 個人で保有していると思われる。今後確認する。

丸山 一般的な鳥などの弾、有効射程

45〜50mと違ってスラック弾の場合有効射程が100mある。その分危険性も高くなる。また、仕留められなかった場合、手負いのクマになってしまい危険になる。いざ駆除という

丸山 シカの出没も増えている。クマ

のような人的被害の心配はそれほどないと思われるが、農作物の被害が心配される。対策と対応は。

町長 クマ同様にシカについても対応できるように確認作業

とき事故防止や適切な駆除のために訓練等行うべきではないか。

町長 銃を使うので有効でかつ安全であることが大前提であるが、現時点で詳細にわたって確認できていない状況にある。今後指摘のあった訓練等確認作業を進めたい。

丸山 豚熱の発生以来イノシシの数も

激減し、被害も減っていたが、最近イノシシが増えつつある。前にも言ったが、イノシシ対策は増えてからでは人的にも金銭的にも負担が大きくなる。被害防止対策と、駆除の新たな取り組みはあるか。

町長 箱わな、くくり

わな、侵入防止策等の設置を以前から行っているが、継続して行う。駆除方法について、情報収集を行い有効な手段を取り入れたいと考えている。

丸山 大河原町農作物

鳥獣対策協議会の繰越金が年々増え令和5年度の繰越金が300万円以上ある。駆除隊のくくり罠の購入は個人負担となっている。負担軽減に異議入

や猟友会の年会費などの補助はできないのか。

町長 イノシシ対策は町にとっても重要な課題、趣旨は理解するところなので町でできることを検討課題とする。

丸山 イノシシが少なくなつて毒蛇マムシやヤマカガシが増えてきている。今後の町の対策は。

町長 町で駆除は行っていないが、毒をもつ個体がいるため危険性は高いと認識している。的確な情報をどう提供するか町としてできることを考えた

い。

有害動物



丸山 勝利

一般質問

官民連携

今後の在り方は

連携手法をしっかりと見定める



佐久間克明

環境を想定することも必要。
役場はまちづくり、人づくりについて原点に返って見直していく必要がある。挑戦してうまくいかなかったら修正することが大事で、地元で頑張っている人々たちを掘り起こし活用させていただくことも大事。それが刺激になってまた新たなチャレンジに繋がるかもしれない。

職員の暑さ対策と統一感を

体調管理や集中力の維持など対応が困難なくらい暑さは尋常ではない。民間企業では襟付きのドライポロシャツが採用されている。白石市では市の観光土産がプリントされたポロシャツを統一で着ている。本町も採用してはどうか。

町長 シティプロモーションも兼ねて

着用している事例もあるので町観光物産協会や職員互助会と連携をはかりながら検討していく。

佐久間 これまでのクルーズだけでは

SAKAI REGIONAL INNOVATION COLLEGE

境まちづくり大学院の概要

境まちづくり大学院の目的

境まちづくり大学院は、地域の特色を活かし、地域社会を元気にすることを目的として、地域社会の発展に貢献する人材を育成すること。地域社会の発展に貢献する人材を育成すること。地域社会の発展に貢献する人材を育成すること。

境まちづくり大学院の学科3つの特徴

01 まちづくりのまちづくり

02 まちづくりのまちづくり

03 まちづくりのまちづくり

稼ぐ力を持つ地域をつくり繋げる

本町はにぎわいを創り出しており大きな転換期と考える。地元民間事業者では、人手不足により技術やノウハウの継承が見込めず事業縮小などの課題が今後増えていく。本町の自主財源比率は年度当初で42%。町が町民のために稼ぐという感覚が大切になる。ハード面が進む今、指定管理や民間連携での事業契約の在り方にも変化が必要とを感じる。

佐久間 総務産業常任委員会で、地域整備課職員にも同行いた

だき茨城県に視察調査に伺った。境町では公社を立ち上げ指定管理を行っており、町が地方創生関係交付金とふるさと寄付金を活用し施設等ハード面を整備し、公社が運営し売り上げの25%を町に支払っている。本町も、支払うのではなく逆に町に支払ってもらう形に変えるべきではないか。

町長 自治体が目指す目的を達成させる手法の一つと考えている。

ノウハウを持つ大企業との契約も大切ではあるが、地元で継続的に活動してきたプロなど先駆者と連携し事業の構築をできないか。

佐久間 ノウハウを持つ大企業との契約も大切ではあるが、地元で継続的に活動して

きたプロなど先駆者と連携し事業の構築をできないか。民間の力を使っ

町長 て成功確率をあげていく必要があるが、どんな目的でなぜ官民連携するのかという視

点が最も大事。民間が持つ今と先の環境の変化にどう対応していくのかという感覚やスピード感を、行政も同じ視点で見えていく必要がある。そのためには民間の力を存分に活用し経営感覚を、行政自ら体現していくような視点で見えていく必要がある。地元人材がいてどう活用していくのか、一生懸命やった人が第二の人生として、指導者などの立場で貢献するようなことは必要。人材たる存在を産める

空き家対策等

空き家バンク創設を

現在のところ考えていない

須藤 少子高齢化や人口減、相続、老朽化等、様々な理由がからみあい大河原町（以下：本町）においても空き家が年々増え続けている。

「本町の空き家戸数：令和3年度144戸（管理不全空き家11戸）、令和4年161戸（管理不全空き家8戸）」

須藤 令和5年度の空き家戸数・管理不全空き家戸数は、

6戸・管理不全空き家7戸。

町長 第2次大河原町空き家等対策計画（令和5年度から令和9年度）の中のデー

タベースの整備状況は、毎年度実施している空き家等の確認調査により得られた最新の情報に更新し、管理を行っている。

須藤 管理不全空き家者等を確認できない、相続放棄等により所有者等がいらない空き家はあるのか。

所有者情報が特定できない空き家が数件ある。毎年度、関係各課と連携して各課で保有している情報の共有や外観目視調査等により、空き家等の解消に向け実態の把握に努めている。

町長 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

須藤 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

須藤 「空き家バンク」制度を創設すべきと考える。現状認識と今後は。

空き家に関する情報を自治体が集約して発信することにより移住・定住や起業・創業など様々な活用につなげていく制度と受け止めている。本町においては、町内に不動産業者協会が2団体あり、空き家の斡旋等を行っているので、「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

須藤 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

須藤 「空き家バンク」制度を創設すべきと考える。現状認識と今後は。

空き家に関する情報を自治体が集約して発信することにより移住・定住や起業・創業など様々な活用につなげていく制度と受け止めている。本町においては、町内に不動産業者協会が2団体あり、空き家の斡旋等を行っているので、「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

須藤 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 空き家をリフォームする際に、補助金を出している自

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 町が率先して行う状況にないと判断している。

「地域おこし協力隊制度」を採用すべき。

政策企画 今後、検討していきたい。

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 町が率先して行う状況にないと判断している。

「地域おこし協力隊制度」を採用すべき。

政策企画 今後、検討していきたい。

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 町が率先して行う状況にないと判断している。

「地域おこし協力隊制度」を採用すべき。

政策企画 今後、検討していきたい。

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

町長 町が率先して行う状況にないと判断している。

「地域おこし協力隊制度」を採用すべき。

政策企画 今後、検討していきたい。

「空き家バンク」を創設するまでは考えていない。

一般質問

森林環境税

積立基金はどう使う

今後、下刈りや間伐を実施する



大沼 常次



国は今年度から森林環境税として住民税に年額1000円プラスし、徴収した税金を全国の自治体に「譲与税」として配分している。国からの森林環境譲与税は特定目的税であり、森林の整備や人材育成、木材の利用促進に活用されなければならない。

大沼 町の総面積に対する私有林人工林の面積の割合はどのくらいか。

町長 約12%である。

大沼 これまで、目立った事業は行っていない。譲与税の大半を森林環境譲与税基金に積み立ててきたが、その積立額はいくらかあるのか。

町長 今年度の積立予定額を含めると約2千万円近くある。

大沼 町民から税を徴収して、何もやらないのは無作為、不作為である。

町長 今後、計画を立てて森林の下刈りや間伐などを順次進めていく。

大沼 目的税として町民から1000円徴収しているの、税の目的を踏まえた事業の執行を行わなくてはならないと思うが町長の見解は。

町長 森林環境譲与税の目的に沿った取り組みを進めていく。

放課後の教育活動を確保するために5時間授業の推進について

現行の小・中学校の時間割では小学校の低学年を除き、6時間授業が週4日もあるのが一般的である。そのため、放課後の教育活動（委員会活動、教育相談部活動など）や教員の授業の準備、打合せなどが十分に確保されていない現状にある。

大沼 7月に文科大臣の諮問機関である



森林を整備することは有害鳥獣対策につながる

る中央教育審議会の特別部会が過当たりの授業時数の削減を促す方針を表明した。この答申案を教育長はどのような所感を持ったか。

教育長 今回の答申案に賛同する部分は多くあると認識している。各校の校長には5時間授業をつくり出すよう再検討を指示したところである。

大沼 全国的には、この答申案が出る前から、夏休み等の長期休業を短縮して、週3日の5時間制」を実現

実践しているところがある。検討すべき課題だと思ふ。

教育長 町では4年度から実施している。二学期制を実施するにあたり、夏季休業日を5日間削減している。（ただし、秋季休業日を2日とっている。実質3日の削減）各校においては、5時間授業を週2回実施しているところもあり、できる範囲で5時間授業をつくれるよう努めている。

負の遺産を生み出すな

新たなにぎわい創出を目指す



造成が進む白石川右岸河川敷整備事業

岡崎 令和5年度のMTBパーク事業のランニングコストと利用者実績は。また令和6年度パークゴルフ事業の当初予算におけるランニングコスト及び8月末までの収入は。

令和5年度のMTBパーク事業のランニングコストと利用者実績は。また令和6年度パークゴルフ事業の当初予算におけるランニングコスト及び8月末までの収入は。

町長 MTBパークのランニングコストは約600万円、利用者実績は土日祝の集計のみであるが約2600人。パークゴルフ場のランニングコストは約2540万円、8月末までの収入実績は246万1450円。

岡崎 令和5年度までの白石川右岸整備事業に係る累積投資額の国税、県税を含めた総額を示してほしい。

町長 平成29年度から宮城県とのコラボ事業として開始され、本町の事業費は令和5年度まで6億9400万円、そのうち国県が

らの交付金は約1億3千万円。

岡崎 今後建設が予定される、にぎわい交流施設の総投資額と年間維持管理費を示してほしい。

町長 官民連携手法導における投資費用が12億2千万円、年間の維持管理・運営を想定した費用は1億2千万円と算出している。

岡崎 この事業における埋没費用は膨大なものにならないか、町民からは不安の声が多く聞かれるが見解は。

町長 本事業については収益事業としてではなく、仙南における広域的な視点で取り組んでいるまちづくりや地域づくりの公共事業であると考えている。事業を実施するにあたり費用の削減や有

効活用を図ることが重要であると考えている。Well-being（ウェルビーイング）なまちづくりの実践の場として役割を担う施設として新たな賑わいの創出を目指す。

岡崎 現在工事は造成が進んでいる現状であるが、造成工事が終了する来年度末以降について明日からでももう一度町民と議会と真摯に向き合い町として計画を保留することを考えてはどうか。

町長 モデルプランを示し、住民懇談会等も開催した。これから民間活力を導入するに当たり、説明機会をつくりながら町民の皆さんの意見もいただきたい。

賑わい交流拠点施設



岡崎 隆



全員協議会

全員協議会は、町政全般にかかわる事項や、議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員で行う会議です。
この会議は、一般に町政に関する重要な事件や町議会内部の事項について報告・協議するため、必要に応じて開かれます。

大河原町原油価格・物価高騰対策中小企業者支援金

原油価格や物価の高騰による町内事業者の経営への影響を緩和し、事業者の負担軽減と事業の継続及び雇用の維持と地域経済の活性化を図ることを目的として中小企業者等に支援金を交付することにした。

【対象】

- 大河原町内に事業を有する中小企業（個人事業主を含む）等で、申請時において事業を営んでおり、今後も事業を継続する意思がある者。（全業種対象、大企業を除く）

- 個人事業主にあつては、事業収入が全収入の2分の1以上であること

【支援金額】 一律5万円

【見込件数】 800件

【申請受付】 令和6年9月下旬～令和6年12月27日

【申請書類】 ① 申請書（誓約・同意事項有り）

② 代表者の本人確認（写）

③ 振込先金融機関、口座番号、名義等が確認できる書類（写）

④ 法人にあつては、法人税確定申告書（写）

個人事業主にあつては所得税確定申告書（写）又は住民税申告書（写）

賑わい交流拠点施設整備の進捗状況について

現在の状況

令和5年度

- 官民連携手法導入可能性調査を実施

【公園整備費及び維持管理費の算出】

モデルプランを作成し施設整備費を算定した。

令和6年度

- 第1回大規模事業に係る内部評価委員会（4月18日）

【大規模事業及び自己評価調書の説明】

対応方針を決定した。

- 官民連携手法を導入した施設整備及び管理運営を行う企業を募集

するため、アドバイザー業務を契約（令和6年～7年度）

- 住民懇談会の開催（6月22日）及び、住民アンケートを実施。

【モデルプランの修正】

- 第1回大規模事業評価委員会（7月19日）

【大規模事業について説明】

大規模事業の内容等の説明及び町の対応方針等について説明した。

- モデルプラン修正作業

7月総務産業常任委員会の視察研修先として茨城県内の施設を視察した。



境町アーバンスポーツパーク
東京オリンピックのコースを移設



下妻市Wai Waiドームしもつま
バスケットボールコート2面分の屋根付多目的広場

大河原町燃料高騰対策運送業者等中小企業者支援金

原油価格や物価の高騰や円安の影響による燃料高騰を受け、燃料経費が事業を圧迫する運送等事業者の事業の継続と雇用の維持を支援することを目的に、事業用車両の燃料に係る経費の一部として支援金を交付することにした。

【対象】

- 大河原町内に事業を有する運送等事業者（個人事業主を含む）で、申請時において事業を営んでおり、今後も事業を継続する意思がある次の事業のいずれかの事業を営む事業者。（大企業を除く）

① 貨物自動車運送事業（一般・特定・軽貨物）

② タクシー・介護タクシー事業

③ 自動車運転代行業

④ 貸切バス事業

【支援金額】 一台3万円

【見込件数】 200台

【申請受付】 令和6年9月下旬～令和6年12月27日

【申請書類】 ① 申請書（誓約・同意事項有り）

② 代表者の本人確認（写）

③ 振込先金融機関、口座番号、名義等が確認できる書類（写）

④ 法人にあつては、運送事業の免許証（写）と対象車両の車検証（写）

訴えの提起について

大河原駅前立体駐車場内に長期間にわたり放置された車両について、車両所有者を相手方とし、車両の撤去及び土地の明け渡し等を求める訴訟を提起することにした。

【請求の原因】

令和5年4月下旬頃、本件車両に撤去を促す警告書を添付したが、本件車両が撤去されることはなかった。町は本件車両の所有者である相手方に対し、車両の撤去及び連絡をすることを求める文書を郵送したが、文書が返送され連絡がつかない状況であるため、訴えを提起するもの。

大河原町議会における政治倫理向上に関する決議

この度の不祥事により失われた信頼回復の為、議員発議により決議した。

【決議文】

大河原町議会は、大河原町議会基本条例及び大河原町議会政治倫理条例を平成26年1月1日に大河原町議会総意のもとに定めた。この条例は、町民福祉の向上及び町政の発展に寄与すること、また、町民からの信頼を高めることを定めるものである。

このたびの不祥事では、町民の皆さまを始め多くの方々の信用信頼を著しく損ねると同時に、大河原町の名誉を深く傷つけるものであり、本町議会としてもこの憂慮すべき事態を厳粛に受け止め、失われた信頼の回復に全力で取り組まなければならない。

この状況を真摯に受け止め、大河原町議会議員として、町民から町政に関する機能を信託された代表であることへの自覚、さらには自己の能力を高める不撓の研鑽に、より一層努め、町民の代表としてふさわしい活動に邁進することを改めて確認する。

今後、このような問題を二度と起こさぬよう、議員一人ひとりが議会の責任と役割を深く認識し、町民の負託に応え得る高い倫理観と使命感をもって活動していくことを改めて決意し、大河原町議会一丸となつて信頼回復を図ることを誓う。

以上、決議する。

令和6年9月13日

補欠選挙にて新議員が決定しましたのでご紹介します。



10月6日執行大河原町議会議員補欠選挙で遠藤 勇耶氏（無投票）が当選されました。
任期は令和6年10月7日から令和7年4月30日まで。

委員会活動

総務産業常任委員会は令和6年8月21日、文教厚生常任委員会は令和6年7月23日に、それぞれ次の内容について調査を実施。なお、広報委員会は、9月議会終了後通常通り、4回の編集会議を行い議会だよりの発行を行った。

文教厚生常任委員会

「仙南クリーンセンター及び仙南最終処分場」について

調査事項

- 1 町のごみ収集の現状と課題について
 - ① ごみ搬入場所…仙南クリーンセンター、仙南リサイクルセンター、株式会社高良
 - ② ごみの集積所とごみの量…505箇所 全て併せて年間約5300t
 - ③ 収集運搬委託…有会社コーセイサービス 委託金額…2億2千万円
 - ④ 収集方法…町内を4コースに分けて実施。各々110から140箇所
 - ⑤ その他…リサイクルステーション、集団資源回収、生ごみ処理機補助業者からの話
- いつもの時間に来ないとの苦情があるが、午前8時30分までが基本
- 集積場所の道路が狭いところの移動など検討して欲しい
- 集積所が年々増加、経費高騰により経営圧迫が起きている
- 収集車両の耐用年数5年であり契約年数の3年では採算が合わない
- 3 仙南クリーンセンター及び仙南最終処分場の視察
 ※最終処分場を掘り起こし再度燃焼処理を行い最終処分場の延命を計画

【まとめ】

- 1 今年度からの委託入札で落札者の辞退があり、入札の仕方、契約書等問題
- 2 次点で委託を引き受けたものの、落札金額では経営的に厳しい検討要
- 3 町民からのごみ収集の問い合わせについては、町と業者で連絡を密に
- 4 町のごみ総量は減少するも、コンポストや生ごみ処理機購入補助で加速を

総務産業常任委員会

「桜樹管理」について

- 1 白石川堤一目千本校の現状について
 本町分の植栽本数856本（若木…614本 成木…251本）
高山開治郎氏寄贈の木、197本
- 2 白石川堤一目千本校の保護管理について
 樹木医が付番し、記録写真による管理、随時巡回による現状確認
また、品種固定や、由来等を調査管理している
- 3 白石川堤一目千本校の課題について
 ● 高山開治郎氏の寄贈を由来とする植栽区間は古木の延命に努めつつ更新
● 若木植栽区間は次代の観桜エリアとして健全育成し魅力ある桜環境を構築
※樹木医の桜樹保護作業の体系確立・マニュアル化が必要

【調査の結果及び意見】

- 河川法により新たな植樹は困難。自然萌芽やひこばえ、側枝育成の対応
- 全域で土壌の養分が不足、猛暑による早期落葉や土壌の著しい乾燥が問題
計画的な散水が必要
- 新たな害虫の生息域が拡大。従来の消毒作業の継続及び、広く情報提供を呼びかける
- 白石川左岸南桜公園付近の桜樹は「ならたけもどき病」の被害が大きい伐採等の対応必要
- 樹木診断に必要な機材は予算化して購入等検討すべき
- 樹木医の尾形先生をトップにした桜樹を守る人材育成が必要
- 今後継続的に桜樹を保護していくためには、計画的な人員配置が必要

こんな町に住みたいな



大河原中学校3年
おみや 大宮 煌貴さん

私が思う理想の町

私が住みたい理想の町は、自然と調和した豊かな暮らしを楽しめる場所です。まず何よりも、四季折々の豊かな自然が身近にある町であることが重要です。森林や川など、自然に囲まれた環境の中で五感・全身で自然を感じ、心地よい生活を送れる町であつたらいいと思います。また、地域の伝統的な生活様式や文化が大切にされ、その文化に関する行事で人々が様々な交流できると尚、良いです。そのようなかで住民同士の仲が良く、お互いを思いやる共生の精神が息づいている町が理想とする町です。



大河原中学校3年
かんの 菅野 莉沙さん

私が住みたい理想の町

私は老若男女問わず利用でき、安らぎの空間となる施設がある町に住みたいです。大河原には小、中学生の遊べる場が少ないと思います。公園は多くありますが、気温や天気によつては外で遊ぶことができない場合があります。そんな時に屋内で遊べる施設があると良いと思いました。小さい子供や小・中学生が遊んだり、勉強をしたりする場、大人が読書などをして日々の疲れを癒し一息つく場、様々な人の安らぎとなる、そんな施設がある町になったら嬉しいです。

街がどどんとモント

童謡、「まつかなあき」にも、「真っ赤だな 真っ赤だな 烏瓜つて真っ赤だな」と出てくるのですが、「ちよつと待つて、烏瓜つて黄色でしょ？」と思つた記憶がありませんか？この辺に自生している烏瓜は「黄烏瓜」と言う種類で、本来の烏瓜は赤くなります。大河原町にも、一ヶ所だけ赤い烏瓜が自生しています。ここより北に赤い烏瓜がある話を聞いたことがないので、「赤い烏瓜北限の町」宣言しちゃう？



12月議会のお知らせ

招集日 12月2日(月)・再開日 12月6日(金)
詳細は議会事務局まで ☎533-28000

今回の表紙は



実りの秋、食欲の秋です。近年は一年中季節に関係なく食材が手に入るようになりましたが、季節のものが、本来の時期の食材で美味しい味を堪能したいと思えます。

今回の表紙は南小放課後子ども教室「枝豆もぎ体験」です。
丸山 勝利

編集後記

蔵王では初冠雪も観測され、朝夕はめつきり冷えこむようになりました。先日までの厳しい残暑が嘘のように感じます。大河原町議会では「政治倫理向上に関する決議」が採択され、議員全員が倫理観と使命感を持って活動していくと決意を新たにしております。
今年も残すところ2カ月となり、年末に向けてお忙しくなると思われます。どうか風邪など召されませぬようご自愛ください。
佐藤 暁史

編集発行責任者	議長 岡崎 隆
議会広報常任委員	委員長 佐藤 暁史
副委員長	佐久間 克明
委員	中村 淳
委員	高橋 豊
委員	須藤 慎
委員	丸山 勝利

町民の声

子育てや町に望むことを
お聞きしました。

大河原町に住んでいて
よかったと思われる町に

プロフィール

たか はし み ほ
高橋 美帆 さん (桜町3区)

仙台市出身

【家族】夫の母・夫・子ども2人(1女1男)

魅力がギュッと 詰ったまち

結婚を機に仙台市から大河原町に引っ越してきました。地元の知り合いからどこに住んでいるのと聞かれ、大河原町と答えるのとすぐに「桜がきれいなところだよ」と言ってくれます。大河原町と聴いてすぐに桜につながり場所が分かってもらえるのは凄いと感じました。桜の時しか大きなイベントが無いと聞きますが、町にひとつでも誰もが知る魅力があることは本当に素晴らしいと町民として誇らしく思っています。引っ越し当時、私は妊娠しており転居届や各種手続きのため歩いて通いました。町内には商業施設の他に官公庁の出先機関もあり、狭いけどギュッと詰った町だと感じています。小学校2年生の娘も、

これから人も 集うまちを

町がきれい、景色がきれい、人が優しいと言ってくれます。

町には映画館や大型商業施設もありますが、年々静かになっていく気がします。以前フォルテでたくさん動物と触れ合えるイベントがあり足を運んだ際に、町外からもたくさんの方が来ていました。町施設でも、イベントができる環境づくりを進めてほしいです。最近物価高騰もあり食べるものも安くはないので、フォルテの駐車所や町内施設を使用して定期的に朝市の開催を望みます。

も、例えばお金がこれくらいかかるからダメとか、メリットとデメリットを知らせてほしいです。

家族を大切に 安心して暮らせる まちに

大河原町は近隣と比べて、子どもの宿題が多く負担になってしまっていると感じます。夫婦共稼ぎや、子どもの睡眠時間は9時間位つくりましようという指導もあり、子どもに寄り添いゆつくり勉強を教えられるのは週末になつてしまいます。私自身は成長する中で、良きも悪くも人からもらった言葉が大人になって理解したり思い返したりと、自己肯定感などの幸福度にも繋がっています。大河原小学校は人数が多いので、多いからこそできる経験や道徳も大切だと感じています。勉強はとても大切です。成長する過程で、人とのつながりや自分のやりたいことを見つける等、子

どもには今しか体験できないことも含めて家族との時間をどう確保するのも大切と考えています。

最後に、小児科を増やして欲しいです。インフルエンザやウイルス性の病気の感染指数が上がっても、小児科が少ないため待ち時間が長かったり、待合室に入りきれず車で待ったりしており、結局町外の診療所へ行ってしまいます。車が無い人はもつと大変だと感じます。様々に社会環境の変化はありますが、ぜひ「かかりつけ医」は何かあっても安心できるように町内で済むようにして欲しいです。

